



ダニや蚊にご注意下さい！



山や草むらで BBQ やキャンプをする際は ダニや蚊に注意しましょう！



これからの季節、ゴールデンウィークなど大型連休を迎え、キャンプや、BBQ、野外フェスなど屋外で活動する機会が多くなります。草むらや野山に生息するダニや蚊に刺されると病気になることがあります。

■ ダニから感染する病気

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、ライム病等

■ 蚊から感染する病気

デング熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎など、中でもデング熱は、昨年からアジアや中南米で大流行しています。

■ **マダニ**:吸血するために地上 1m位の植物の葉陰で野生動物や人を待ち伏せて、その体に付着し、かみつきます。そして、セメント物質を分泌して固着し、その後、麻酔様物質の含まれた唾液を分泌し吸血します。セメント物質で固着したマダニは除去しづらくなり、皮膚科での処置が必要です。吸血して3倍以上に大きくなります。SFTSに感染すると6日から2週間の潜伏期間を経て、発熱・頭痛・筋肉痛、おう吐・腹痛など消化器症状、意識障害などの神経症状、さらに腸などに出血が現れます。特効薬はありませんが、早期治療が大切です。



■ **ヒトスジシマカ**:黒い体に白いシマ模様があります。デング熱は2~14日の潜伏期間を経て急激な発熱で発症し、発疹、頭痛、関節痛、嘔気・嘔吐などの症状が見られます。まれに重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症することがあります。特効薬はありませんが、早期治療が大切です。

■ 感染予防

- 肌の露出を少なくする。長袖、長ズボン、足首まで隠れる靴下をはく。
- 明るい色の服を着る。
- ダニや蚊に有効な防虫剤を使用する。(イカリジン 15%以上、ディート 12%以上)
- ダニは特にシャツやズボンの裾からの侵入を防ぐよう注意が必要です。



防虫剤成分	ディート 12%以上	イカリジン 15%以上
適用害虫	蚊、マダニ、ブユ、アブ、ノミ・イエダニ・サシバエ・トコジラミ・ヤマビル・ツツガムシなど	蚊、マダニ、ブユ、アブ、イエダニ、トコジラミ、ヤマビル
注意	12歳以下の子供は使用回数制限あります ポリエステル系やポリウレタン系の合成繊維に直接吹きかけると変質しやすい。	使用制限はありませんが、肌に敏感な人は少量塗布して問題がないか確認しましょう。



注意！

デング熱を媒介する蚊は、東南アジアの都市部やリゾートに多く生息し、昼間から活動し吸血します。旅行者が感染して症状が出ていない潜伏期間中に帰国し、感染を広めることが多いので大型連休明けは特に注意が必要です。



分からないこと、不安なことがあれば保健室までご相談ください。

Mail: hoken@andrew.ac.jp Tel:0725-92-7614